

会 議 記 録

会 議 名	第4回 宇都宮市クリーンパーク茂原の火災に関する事故対策委員会	
開 催 日 時	令和4年8月25日（木） 午後2時30～午後4時	
出 席 者	宇都宮市	副市長 酒井典久（委員長）、行政経営部長 大竹信久、 総合政策部長 青木克之、理財部長 青木容子、 環境部長 船山伸一（副委員長）
	学識委員	青木隆夫委員、酒井保藏委員、錦慎之助委員、 藤原由房委員、藤原周史委員
公開・非公開	非公開	
会 議 概 要	<p>1 開会</p> <p>2 議事 （1）消防局による出火原因の調査について</p> <p>（2）報告書（案）について</p> <p>3 その他 ○ 今後の委員会の予定等について</p> <p>4 閉会</p>	

発言要旨（発言者は、発言順に委員A、委員B（以下同様）と表記）

委員長	議事（1）について、事務局から説明をお願いします。
事務局	－資料1を説明－
委員長	資料1について、御意見等をいただきたい。
委員A	消火作業の際に、（火災の鎮火のため、ごみピットの）ごみを水没させたことで、軽いごみは浮いてしまい、元の場所から移動していることも考えられるが、どのように調査したか。
事務局	（消防の記録では、）実際の放水量は（全てのごみが）水没するほど多くなかったため、（ごみピットのたい積しているごみの）上の方にあるものを重点的に調査した。

委員 B (受託者が初期消火活動時に) オレンジ色の光を確認した場所付近がよく燃えたという理解でよいか。

事務局 消防への通報の内容や、先着した消防隊の情報から、西側(受託者がオレンジ色の光を確認した場所)が1番燃えたと考えている。(さらに,) 東側に行くにつれて、ごみが高く積まれているので、低いところから高いところへ(西側から東側へ)燃え広がったと考えているため、西側を重点的に調査した。

委員 B 東側の放水銃が熱で破損したという説明があったが、燃え始めは西側で、徐々に東側に燃え広がり、温度が上がったことが原因という理解でよいか。

事務局 お見込みのとおりである。

委員 C 今後、引き続き出火原因調査を行う予定はあるのか。
また、今回の調査で、火災の危険性があるごみが6点確認されたとのことだが、この6点のうちのいずれかが出火の原因になったと考えていいのか。

事務局 出火原因につながる新たな情報が確認されなければ、追加調査は行わない。
今回確認された6点のごみについては、(今回の火災の出火原因とまでは言えないものの,) 全て出火の危険性があるものと認識している。

委員 D 写真6の1番「電池ケース」は、電池が入っているものか。

事務局 (電池は入っていないが,) 電池ケースがあったということは、電池も含めて(ごみピットに)搬入された(可能性がある)ということで、(火災の危険性のあるごみとして,) 提示した。

委員 D (写真では判別できないが,) リチウムイオン電池のパッケージのようなものか。それとも、乾電池を入れる部品なのか。

事務局 乾電池を使うものの部品の一部である。

委員 B 写真6の4番「スプレー缶」は、破損した状態だったのか。

事務局 スプレー缶自体に、焼け跡(や破損)は見られなかった。

委員B 2番のスプレー缶は、完全に破断しているが、どんなスプレー缶だったのか。

事務局 化粧品などによく見られる、細身のものである。

委員長 調査結果としては、(出火原因の)特定には至らなかったものの、2000 tのごみのうち、1.75 tの調査でこれだけの(火災の危険性がある)ものが確認されたことから、2000 tの全てのごみを調べれば、同様の(火災の危険性のある)ものは、確実に確認できるだろうということによいか。

事務局 そのとおり。

委員長 次に、議事(2)について、事務局から説明をお願いします。

事務局 ー資料2を説明ー

委員長 資料2について、御意見等をいただきたい。

委員C 第3の火災事故の経過に記載のある時間は、何を根拠に記載したのか。根拠を記載した方が、(報告書を公開した際に)誤解を生まないのではないか。

事務局 受託者からのヒアリングや(業務上で作成している)日誌、火災覚知システムなどの作動記録を根拠としている。

委員D これまで、ごみピットにおいて発煙が何件も発生しているにも関わらず、火災覚知システムが1度も作動しなかったという状況について、(受託者や施設を管理する市の中で)あまり議論されていなかったようである。(今後、)火災を早めに検知して迅速に消火することはもちろんだが、例えば発煙などが発生した際に、(対策などを)議論する場を設けることなどが、再発防止策として必要だと考える。

事務局 以前委員から(同様の)御指摘をいただいた際、(受託者などに)確認したところ、いわゆるヒヤリハット運動のような、小規模な事故についての議論は、これまで通常業務の中でも実施されていたことが判明したため、改めて再発防止策の項目としては挙げていなかった。

- 委員長 2度と（同様の事故を）起こさないように，そのような（議論を行う）ことは徹底的に行うべきだと考える。
- 事務局 記載内容について再検討する。
- 委員E 「小型充電式電池の行政回収の検討」については，早急に（検討し，）市民に周知してもらいたい。自治会としては，分別の方法などが明確に示されれば，いつでも市に協力する姿勢である。
- 事務局 モバイルバッテリーなど，新しい製品が広く使われている状況を鑑みて，今後検討していきたい。
- 委員A 東京の武蔵野市では，地域FMや広報誌など様々な媒体を使って積極的に広報を行っている。宇都宮市でもこれを機会に，積極的な広報を行うよう検討してもよいと考える。
- 委員B 最近，クリーンセンター下田原でもごみピットで火災があったと伺ったが，どのような状況だったのか。
- 事務局 クッションに何らかの原因で着火し，出火したようだが，原因の特定には至っていない。
クリーンセンター下田原においても，初期消火の開始と同時に消防に通報するようマニュアルを改定しており，今回の（クリーンセンター下田原での）火災では，消防が到着した時点で既に炎や煙は確認できない状態であった。
本委員会における検討などを踏まえ，早期の対応が図れたと考えている。